

兵庫県におけるウスイロコノマチョウの採集記録

己 政 畑 広

駅の構内や商店街の中など市街地のにぎやかなところでよく採集されており、県下では阪神間での採集記録が多い。

県下における最初の記録は1937年10月のようで、神戸市外本山村（現在の東灘区本山町）にて1頭が採集されている（谷口、1938）。この報告によると、それ以前にも東灘区住吉町などで採集した標本を見たことがあると記されているが、確かな記録としては本山町の記録が最初のものである。それ以来、1960年までに4例、1980年までに10例が報告されているだけであったが、1983年にはこの年だけで4頭が採集されている。

1983年は山陰の浜田市でも9月に多数の個体が採集されたり（淀江、1983）、兵庫県から東の他県からも多くの採集記録が報告されている。

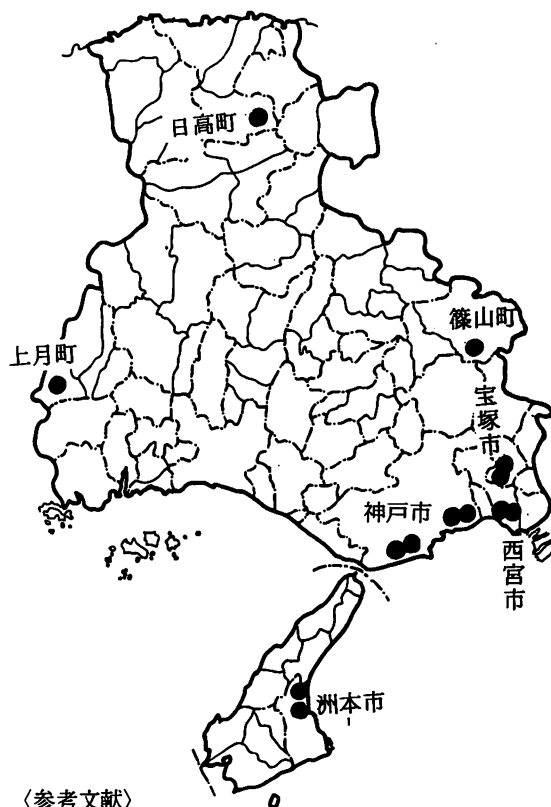
本種は奄美諸島以南に土着しているとされているが、溝上（1984）は、佐賀県では毎年同じ場所で採集されることなどから、奄美以北でも土着の可能性が充分考えられる旨の見解を述べられている。

九州にも土着をし、個体群の密度を高めながら分布をさらに拡大するとすれば、本県にも飛来する頻度も高くなるわけで、クロコノマチョウのように耐寒性があれば本県でも将来土着の可能性もでてくるわけである。今後の推移を見まもっていきたい。採集記録を御教示いただいた青山潤三氏にお礼申し上げる。

〈採集記録〉

神戸市東灘区本山町	lex	—	X	1937	谷口和義 ¹⁾
神戸市六甲登山口	lex	—	—	—	柴内俊次 ²⁾
西宮市夙川	—	—	VIII	1955	伊勢田漱二 ²⁾
宝塚市武庫川原	—	—	夏	1956	川合 勲 ²⁾
西宮市御茶屋新町	—	31	VII	1957	有田 茂 ³⁾
佐用郡上月町上秋里	1 ♂	20	VI	1971	五十嵐英二 ⁴⁾
多紀郡篠山町曾地奥	幼虫4頭	5	VIII	1973	浜・当麻 ⁵⁾
神戸市長田区	lex	—	—	—	柴内俊次 ⁵⁾
城崎郡日高町久斗	lex	24	VII	1977	山田剛士 ⁶⁾
洲本市本町	1 ♂	1	VII	1980	浅田 卓 ⁷⁾
洲本市安乎町浜	1 ♀	6	VIII	1983	前川和昭 ⁸⁾
神戸市須磨区須磨浦通	1 ♂	4	X	1983	青山潤三
宝塚市小林	1 ♀	1	VIII	1983	平野雅親 ⁹⁾
西宮市阪急西宮北口	lex	30	VIII	1983	法西定雄 ¹⁰⁾

図 ウスイロコノマチョウの採集地



〈参考文献〉

- 1) 谷口和義(1938) 神戸市産蝶類雑記(1)昆虫界 6 (55): 762
- 2) 東 正雄(1960) 六甲山系の迷蝶 兵庫の自然のじぎく文庫 神戸
- 3) 五十嵐英二(1981) ウスイロコノマ採集の思い出 きべりはむし 9(1): 30
- 4) 浜祥明・当麻信彦(1973) 能勢地方調査記録 crude (9): 1
- 5) 柴内俊次・中畔史雄(1950) 神戸虫だより 札幌昆虫同好会会報(1): 5
- 6) 山田剛士(1980) 日高町でウスイロコノマを採集 IRATSUME(4): 69
- 7) 浅田 卓(1981) コノマチョウ属2種の採集記録について Parnassius (23): 1